

# 境町歴史民俗資料館だより 第3号

平成28年9月15日発行

境町歴史民俗資料館  
〒306-0431 茨城県猿島郡境町大字西泉田1326-1  
電話番号 0280-81-3353 FAX 0280-81-3354  
開館時間 通常 9:00～16:30  
休館日 毎週月曜／祝日／年末年始

## ～長田小学校とアルゼンチンとの交流～

### ～一振りの日本刀が縁～モンテネグロ公使と野本作兵衛氏～

境町では国際感覚豊かな児童・生徒の育成と国際社会で活躍できる若者を育てるためアルゼンチンや中国・上海との国際交流に取り組んでいます。なかでも、アルゼンチン共和国との国際交流では、昭和10年(1935)2月19日、蛇池の境町立長田小学校にアルゼンチン代理公使モンテネグロ氏が来校したことが交流の始まりで、それ以降、今日にいたるまで、82年間も友好関係は続いています。

昭和63年(1988)6月2日にはアルゼンチンからエンリケ・J・ロス大使他5名の使節が来校し、「長田小学校アルゼンチン共和国記念之碑」建立式典が挙行され、長田小学校ではこの日を「アルゼンチンの日」と定め、毎年、アルゼンチン大使館より大使や公使を招待し交流会を開催しています。

長田小学校とアルゼンチン共和国が今日の友好関係を結ぶこととなったのは、今から遡ること約110年前の明治37年(1904)に日本とロシア帝国との間に起こった日露戦争が深く関わっています。明治38年(1905)5月、連合艦隊の旗艦三笠で指揮し、後に東洋のネルソン(イギリス海軍提督)と称された司令長官東郷平八郎(海軍大将・薩摩藩出身)率いる日本の連合艦隊が世界最強を誇ったロシアのバルチック艦隊を全滅させた日本海海戦の大勝利に関係があります。

日本海軍の連合艦隊に編成されて大活躍した「春日」と「日進」の2隻の軍艦は、連合艦隊司令長官東郷平八郎のイギリス留学時代に共に学んだ盟友のアルゼンチンのドメック・ガルシア提督がイタリアに注文していたものを日本に譲ってくれた軍艦だったのです。この2隻の軍艦が日本に秘密裏に譲渡され、日本海軍の戦力増強になったのです。

昭和8年(1933)、この出来事の記録を読んで感銘をうけた境町上小橋の野本作兵衛氏(当時38歳)は、アルゼンチンに謝意を示すために家宝の名刀を携え、報知新聞社の口添えによりアルゼンチン大使館を訪ねることになったのです。この頃、アメリカ大使館にアルゼンチン代理公使として赴任していた親日家アルツォーロ・アルバレス・モンテネグロ氏は野本氏のこの申し出に深く感激し、「宝刀」をガルシア提督に届けることを約束してくれたのです。その際に日本刀の美しさに魅了されたモンテネグロ氏に、もう一振りの刀を贈ったことにより、二人は深い友情で結ばれることになりました。

こうした上小橋の野本作兵衛氏とモンテネグロ公使との出会いが長田村とアルゼンチン公使との友好関係が始まったのでした。

(ながた 創立百周年記念誌抜粋長田小学校)



( 境町歴史民俗資料館 野村正昭 )